

平成20年度第3回（仮称）広域リサイクルセンター基本計画策定委員会会議録

日 時 平成20年8月29日（金） 午前10時 ～ 正午
場 所 寒川町クリーンセンター 2階・会議室

出席委員 14名

・市川元久・小嶋政幸・亀山直平・井上隆男・佐藤忠・杉山六郎・小嶋龍巳
・磯川彰・吉田和正・後藤勤・前嶋笑子・海老根照子・関口光男

欠席委員 なし

町出席者

・須藤部長・関野課長・石塚主幹・関本副主幹・徳江主査

司会進行は石塚主幹

1. 開 会 ……市川委員長より開会

2. 議 題

(1) 第2回基本計画策定委員会の会議録について

まず、会議録の確認をお願いします。これは寒川町では会議の公開を前提としているため、請求があれば会議録の公開を求められるためです。発言については、委員の方々は「委員」、町に関しては「事務局」と表記します。発言内容はできる限りそのまま記載していますが、要約している部分もありますので、ニュアンスが違うなどあれば事務局までお願いします。

(2) (仮称) 広域リサイクルセンター基本計画の計画条件等について
(以下「リサイクルセンター」と表記する。)

(議 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局) 資料について説明（P1～P11まで）

(議 長) 事務局より説明がありましたので、質疑を受けたいと思います。

質 疑

(委 員) 寒川町の収集方法の変更はガラス類の分別だけか。

(事務局) ガラス類の分別と衣類・ボロ類を袋に入れて出すことがあげられます。

(委 員) 施設建設時に家屋調査を行うことや近隣に住宅が無く、協定を締結しない旨の説明があったが、どういうことか再度説明をお願いしたい。

(事務局) 市街地にこれらの施設がある所では、敷地に隣接して住宅等が建っているケースがあります。この場合に工事を始める前に住宅の現状を確認して写真を取るなどの調査を行い、影響が出た際の保証等を含めた協定を締結することがあります。ただ、今回は一定の距離があるため、協定等については必要ないと考えています。

(委 員) 茅ヶ崎市の動きについて差し支えない範囲で教えてほしい。

(事務局) 新しい施設では収集方法の統一が必要なので、びん・かん類のコンテナ、ネット回収やプラスチック容器包装類の分別回収を検討するため、必要な情報収集をしているところです。中でもコンテナ回収については、試験的に回収を行うなど検証を進めていると聞いています。

- (委 員) 搬出入ルートとしては、事務局案として目久尻川沿いの道路を考えているとの説明があったが、旭橋付近での大型車両のすれ違いは難しいと考えられるが、道路規制等を行うのか。
- (事務局) 先ほども説明したが、これらは茅ヶ崎市をはじめこれから協議するので、搬出時間等を含めて詰めていきたいと考えている。
- (委 員) 資源ごみの回収回数についてはどう考えているか。
- (事務局) 資源ごみの回収は現在は月1回だが、リサイクルセンターの稼働に合わせて、月2回に増やすことを検討しています。資源化を推進するための施設ですから、より多くの資源を集めるために回収回数を増やしていく必要があると考えています。
- (委 員) 直接搬入について月曜から金曜までになっているが、平日は勤務の方々を考慮して、土曜日の対応ができないだろうか。
- (事務局) 土曜日を閉庁にしたのは近隣市の状況を踏まえたものです。茅ヶ崎市及び藤沢市は閉庁していて、平塚市は直接搬入を受けていない。さらに直接搬入の中で、資源ごみのみを持ってくる割合は概ね1割程度ということもありますが、資源ごみの持ち込みについてももう一度精査します。また、資源ごみの回収について月1回から月2回にすることにより、置場に出しやすくするようにしたいと考えています。
- (委 員) 回収回数は茅ヶ崎市を含めて考えているか。自治会では資源ごみの回収時に当番制を行っているため、対応を考えなければならない。
- (事務局) 資料のとおり茅ヶ崎市では月2回の回収を行っている。回収回数の変更については町のごみ減量審に諮るなど手続きが必要なため、現在は事務局案として考えていただきたい。
- (委 員) 道路の件については、解体工事に関する工事車両も入ってくると思うので早急の検討が必要ではないか。
- (事務局) 解体工事期間については、工事車両の通行に関して目久尻川沿いのルートに保安員を配置して、通行管理するように考えている。さらに将来的には藤沢市湘南台と寒川町を結ぶ（仮）湘南台寒川線があるので、このルートが基本になっていくと考えている。
- (議 長) 続いて事務局より説明をお願いします。
- (事務局) 資料について説明（P12～P27まで）
- (議 長) 事務局より説明がありましたので、質疑を受けたいと思います。
- (委 員) 茅ヶ崎市では回収後に事業者へ直接搬出しているようだが、今回の計画処理量についてはそれを含めての計画になるか。
- (事務局) 直接搬出する部分は計画処理量に算定していませんが、説明についてはこれらを踏まえて行っています。
- (委 員) 都市計画上の施設規模について聞きたい。都市計画決定をすることで、建ぺい率等は変わるのか。その際の敷地面積は遊水池を含めてのものか。
- (事務局) 建ぺい率等は変わらず、資料のように建ぺい率は50%、容積率100%になります。敷地面積については遊水池を含めて計算しています。
- (委 員) 建ぺい率が50%とすると、敷地の面積として問題ないか。現況と比べて建物はどのようになるか。

(事務局) 現状の面積でも十分におさまると考えています。現況の焼却施設の建物よりも、建築面積としては広くなり、建物の高さとしては低くなると考えられます。

(委員) 解体工事についても茅ヶ崎市と共同で行うのか。

(事務局) 解体工事については寒川町の単独事業になります。リサイクルセンターの建設については共同で行います。

(3)その他について

全員の委員が出席されているので、次回の会議日程についてご都合を伺いたい。

➡10月3日(金) 午前中に予定する。

3. 閉 会

(副委員長) 閉会の言葉を述べて閉会となる。